

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年8月7日

上場会社名 日本山村硝子株式会社
 コード番号 5210 URL <http://www.yamamura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 山村 幸治
 問合せ先責任者 (役職名) 総務経理部長 (氏名) 水田 好彦
 四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東大

TEL 06-4300-6000

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	19,871	△0.5	1,142	15.6	1,428	26.9	964	55.9
21年3月期第1四半期	19,972	—	988	—	1,125	—	618	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.18	—
21年3月期第1四半期	5.57	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	95,378	50,533	52.9	480.56
21年3月期	92,934	48,843	52.5	464.44

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 50,492百万円 21年3月期 48,803百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
22年3月期	—				
22年3月期(予想)		3.50	—	3.50	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 有

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	39,000	△0.6	1,750	9.2	2,300	24.6	1,500	47.3	14.28
通期	74,000	0.8	2,450	63.4	2,600	64.9	2,200	318.3	20.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 有

(注)詳細は、5ページ「定性的情報・財務諸表等」4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第1四半期 111,452,494株 21年3月期 111,452,494株

② 期末自己株式数 22年3月期第1四半期 6,381,892株 21年3月期 6,372,491株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第1四半期 105,073,289株 21年3月期第1四半期 111,105,969株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、平成21年5月12日に公表した内容から変更しております。詳細につきましては、平成21年8月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

上記の予想に関連する事項は、4ページ「定性的情報・財務諸表等」3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

(参考) 個別業績予想

平成22年3月期の個別業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期累計期間	31,500	△1.5	1,400	12.1	1,500	1.8	850	5.9	8.09
通期	58,300	△1.1	1,700	82.6	1,800	35.1	1,150	121.9	10.95

(注) 個別業績予想数値の当四半期における修正の有無 : 有

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期のわが国経済は、世界経済の悪化基調が幾分和らぐ中、国内景気の回復の足取りは重く、雇用環境の悪化、個人消費の低迷が続き、依然として低調に推移しました。

このような中、当社グループでは3ヵ年の中期経営計画「Evolution—進化—」の最終年度を迎え、既存事業の競争力強化、新規事業の強化と立上げ、および国際事業のさらなる展開、の3つの基本方針のもと、総仕上げの取り組みを開始しました。

ガラスびん関連事業では、需要の減少により業界出荷量は前年同期比96.8%と落ち込み、当事業のセグメント売上高も前年同期比3.0%減収となりました。しかし、原燃料費、労務費、減価償却費等の減少により、損益は改善しました。

プラスチック容器関連事業では、ペットボトルが堅調な出荷を続けたほか、TENキャップ（飲料用耐熱ペットボトル向けキャップ）やアセプティック（無菌充填）用キャップの販売も順調に推移し、セグメント売上高は前年同期比5.9%増収となりました。さらに原料価格の下落もあり、損益も大きく改善しました。

物流関連事業では、積極的な新規顧客の開拓により、セグメント売上高は前年同期比3.4%増収となりましたが、徹底的な経費節減活動を展開したものの人件費等の費用増を吸収しきれず、損益は前年並みとなりました。

ニューガラス関連事業では、海外を中心とした電子部品、家電関係の需要の持ち直しを背景に、主力のプラズマテレビ用の粉末ガラスが前年下半期の落ち込みから回復しました。しかし販売価格が軟調に推移したため、売上高は前年同期の水準には届かず、その他、太陽電池用粉末ガラスの伸長はありましたが、セグメント売上高は前年同期比3.8%減収となりました。

その他事業では、エンジニアリング事業における海外設備案件の減少により、セグメント売上高は前年同期比10.7%減収となりました。

これらの結果、当第1四半期の連結売上高は19,871百万円（前年同期比0.5%減）と減収とはなりましたが、連結営業利益は1,142百万円（前年同期比15.6%増）と増益となりました。

また海外関連会社の好調な業績を反映して、持分法による投資利益は332百万円（前年同期は157百万円）を計上しました。

その結果、当第1四半期の連結経常利益は1,428百万円（前年同期比26.9%増）、連結四半期純利益は964百万円（前年同期比55.9%増）と増益となりました。

国際事業展開として、これまで出資比率が50%であったプラスチックキャップ等の製造・販売会社・展誠（蘇州）塑料製品有限公司を、本年6月に完全子会社としました。中国におけるプラスチック容器事業の基盤強化を図り、伸長が期待される中国市場において迅速に対応できる体制を確立してまいります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,444百万円増加しました。これは、流動資産で製品在庫が1,266百万円減少しましたが、売上債権が3,620百万円増加したこと、固定資産で関係会社株式が持分法投資利益と為替換算の影響等により1,113百万円増加したことが主な要因です。

負債については、賞与支給予定額の未払い計上等により、754百万円の増加となりました。

純資産については、四半期純利益により利益剰余金が増加したこと、為替換算調整勘定が779百万円増加したこと、および有価証券評価差額金の増加256百万円等により、前連結会計年度末に比べ1,689百万円の増加となりました。自己資本比率は0.4ポイント上昇して52.9%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期末の現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前連結会計年度末より1,441百万円減少して6,760百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローでは、売上債権の増加がありましたが、たな卸資産の減少があり、また税金等調整前四半期純利益と減価償却費等により、673百万円の資金増加（前年同期は710百万円の資金増加）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローでは、有形固定資産の取得支出のほか、関係会社出資金の払込支出等により、1,751百万円の資金流出（前年同期は612百万円の資金流出）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローでは、配当支出等により、362百万円の資金流出（前年同期は324百万円の資金流出）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期における第2四半期連結累計期間および通期の業績予想につきましては、第1四半期の状況、および第2四半期以降の経営環境等を勘案して、平成21年5月12日公表の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成21年8月7日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
(重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準の変更)

在外関連会社の損益については、前連結会計年度の第4四半期連結会計期間より、決算時の為替相場により円貨に換算する方法から、期中平均為替相場により円貨に換算する方法に変更したため、前第1四半期連結会計期間と当第1四半期連結会計期間で、在外関連会社の損益の換算方法が異なっております。

なお、前第1四半期連結会計期間に変更後の換算方法を適用した場合、経常利益および税金等調整前当期純利益に与える影響は軽微であります。

また、セグメント情報に与える影響は、ありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,760	8,202
受取手形及び売掛金	22,313	18,692
商品及び製品	5,931	7,193
仕掛品	295	529
原材料及び貯蔵品	1,497	1,544
その他	1,262	993
貸倒引当金	△36	△44
流動資産合計	38,024	37,110
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,643	10,713
機械装置及び運搬具（純額）	10,745	11,396
工具、器具及び備品（純額）	860	913
土地	11,290	11,290
建設仮勘定	320	519
有形固定資産合計	34,859	34,833
無形固定資産	392	424
投資その他の資産		
投資有価証券	3,363	2,928
関係会社株式	14,376	13,263
その他	4,428	4,495
貸倒引当金	△66	△121
投資その他の資産合計	22,102	20,566
固定資産合計	57,354	55,824
資産合計	95,378	92,934

(単位：百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,154	6,974
短期借入金	5,788	6,090
未払法人税等	357	135
引当金	316	571
その他	3,774	3,167
流動負債合計	17,390	16,938
固定負債		
社債	1,000	1,000
長期借入金	18,600	18,300
退職給付引当金	3,432	3,522
特別修繕引当金	3,847	3,711
その他	574	618
固定負債合計	27,454	27,152
負債合計	44,845	44,090
純資産の部		
株主資本		
資本金	14,074	14,074
資本剰余金	17,300	17,300
利益剰余金	23,943	23,294
自己株式	△1,209	△1,207
株主資本合計	54,109	53,462
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	317	60
繰延ヘッジ損益	4	△0
為替換算調整勘定	△3,939	△4,718
評価・換算差額等合計	△3,616	△4,658
少数株主持分	40	40
純資産合計	50,533	48,843
負債純資産合計	95,378	92,934

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	19,972	19,871
売上原価	16,056	15,702
売上総利益	3,915	4,168
販売費及び一般管理費	2,927	3,025
営業利益	988	1,142
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	51	31
持分法による投資利益	157	332
その他	108	94
営業外収益合計	318	459
営業外費用		
支払利息	105	105
その他	75	67
営業外費用合計	181	173
経常利益	1,125	1,428
特別利益		
役員賞与引当金戻入額	2	—
特別利益合計	2	—
特別損失		
固定資産廃棄損	68	9
たな卸資産評価損	62	—
特別損失合計	130	9
税金等調整前四半期純利益	996	1,418
法人税、住民税及び事業税	606	350
法人税等調整額	△227	102
法人税等合計	378	453
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	1
四半期純利益	618	964

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	996	1,418
減価償却費	1,332	1,241
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,575	△3,798
たな卸資産の増減額 (△は増加)	441	1,543
仕入債務の増減額 (△は減少)	316	211
その他	398	172
小計	910	788
利息及び配当金の受取額	51	32
利息の支払額	△38	△41
法人税等の支払額	△213	△105
営業活動によるキャッシュ・フロー	710	673
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,178	△1,442
関係会社出資金の払込による支出	—	△293
関係会社株式の売却による収入	640	—
その他	△73	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△612	△1,751
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	353	△2
長期借入れによる収入	500	300
長期借入金の返済による支出	△800	△300
配当金の支払額	△336	△317
その他	△41	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	△324	△362
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△226	△1,441
現金及び現金同等物の期首残高	9,265	8,202
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,039	6,760

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	ガラス びん関 連事業 (百万円)	プラス チック 容器関 連事業 (百万円)	物流関 連事業 (百万円)	ニュー ガラス 関連事 業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	11,975	4,252	2,469	779	495	19,972	—	19,972
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	0	34	—	0	34	(34)	—
計	11,975	4,253	2,503	779	496	20,007	(34)	19,972
営業利益	398	224	113	224	27	988	—	988

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

	ガラス びん関 連事業 (百万円)	プラス チック 容器関 連事業 (百万円)	物流関 連事業 (百万円)	ニュー ガラス 関連事 業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又 は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する売上高	11,620	4,505	2,552	749	442	19,871	—	19,871
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	39	—	0	39	(39)	—
計	11,620	4,505	2,591	749	443	19,910	(39)	19,871
営業利益	492	416	111	148	△26	1,142	—	1,142

(注) 事業区分の方法

製品、サービスの種類・性質の類似性に基づいて区分しております。

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

当社は本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

当社は本邦以外の国または地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

当第1四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年6月30日）

海外売上高は連結売上高の10%未満のため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。